

バイブル

～変革者の決断～

株式会社ロジスト

代表取締役 ^{うつぼ} 打保 ^{あきら} 陽 氏



打保 陽（ウツボ アキラ）氏
1983年（昭和58年）3月23日生。
2001年（平成13年）4月、高校卒業後、一般企業に就職して社会人野球のチームに所属。その後、港湾関係の会社に転ずる。
2015年（平成27年）9月、当社を設立し初代代表取締役に就任。
2019年（令和元年）6月、(株)ロジスト神戸の代表取締役に就任。

会社経営は一筋縄ではいかないもの。危機に直面した時どのように乗り切ったのか、事業の転換をどう成し得たのか、何を抛り所に経営しているのかなど、地元経営者の教訓・想いに迫ります。

第85回は、神戸港において倉庫業や港湾運送関連事業を手がける(株)ロジストの打保陽社長です。幼い頃から野球漬けの日々を過ごし、スポーツを通じて学んだ精神力の強さやチームワークの大切さを武器に会社経営を行われています。港湾関係の事業を通じて、大好きな神戸の発展に寄与できればと考える打保社長にお話を伺います。

■ 生い立ち

1983年（昭和58年）3月、神戸市長田区で生まれました。家業として婦人靴の製造を営み、父、母、姉、私、弟、妹の6人家族で賑やかな雰囲気です。活発で元気な子供であったことから小学校4年生のときに少年野球のチームに所属するようになり、ひたすら野球に明け暮れる日々でした。競技を通じてチームワークの大切さを学びました。1995年（平成7年）1月17日、自宅のあった長田区で阪神・淡路大震災を経験し、両親の支えもあり中学高や高校でも野球漬けの日々を送ったのち社会人となりました。

2001年（平成13年）4月、社会人野球のある某企業に入社し、本気で野球に取り組んでおりましたが、26歳を節目に野球と共に退職しました。ただ、その後も野球が好きで軟式チームのある港湾関係の会社で仕事をしながら、会社+野球の生活を送っていました。港湾の仕事では現場作業が中心となり、作業員として社会人を過ごし、仕事にやりがいと楽しさを見出し、自身の天職に巡り合えたと思える瞬間でした。しかし、新しいことへの挑戦を目指し、その会社を辞める決断に至りました。

■ 当社を設立する

新たに派遣会社の職に就きましたが、営業マンとして3～4カ月の間は成約が取れずに鳴かず飛ばずの状態でした。1年程経ったある日、現在の仕事でも懇意にしている藤原運輸(株)様〔本店：大阪市西区〕の神戸支店へ営業に行くと、長期契約で国内物流に関する案件を発注したいができるかどうか、今この場で積算して可否判断をしてほしいとの機会を得ました。その場で電卓をはじき、頭をフル回転させながら懸命に見積りをした結果、その案件を受注することができました。この話を派遣会社の社長に相談したところ、最終的には「自分自身のチャンスだから会社を設立して、その仕事を引き受けなさい」との流れになりました。2015年（平成27年）9月に突如当社を設立することとなり、人材確保は派遣会社で培ったノウハウを持っていましたが、社長業は右も左も分からず、国内物流の請負業務に従業員と一緒に作業するスタイルでした。また、会社を立ち上げたもののノウハウを十分に持っていなかったため、通常8時間で済むような作業を、その倍の16時間かけてしまうなど非効率な一面もありました。このため当初の2カ月程は多忙で、一度も家に帰れなかったと記憶しています。ただ、何としても引き受けた仕事をやり遂げたいという思いが強くありました。

■ 成長のキッカケ

請負業務が軌道に乗り始めた頃、仕事への姿勢を評価され、国内の某大手物流企業から受注を頂けるようになりました。その背景には、従業員に対して日頃から基本行動として「誠意ある挨拶・返事の徹底」「他社とは異なる付加価値の提供」「仕事は断らず、全てにおいてチャレンジする」ことが評価されたからだと考えます。ただ、当時は利用運送業登録のみであったため、運送業において扱える領域は限定的でした。この領域を拡大したいと思案するなかで縁があり、トラックドライバー従業員10名程が入社することとなり、2019年（令和元年）6月に(株)ロジスト神戸〔本店：神戸市灘区〕を設立しました。これによって一般貨物自動車運送業の許可もグループとして持つようになり、物流業務を幅広く手がけられるキッカケとなりました。本社は2018年（平成30年）6月に移転いたしました。運送部門の次は物流拠点となる自社倉庫を取得することを目標に立てました。その理由は、国内物流の請負業務が契約終了となってしまう可能性が高く、自社運営のできる倉庫を持つ準備をしていく必要があると考えたからです。

■ 物流拠点を取得

自社倉庫のロケーションを調査している過程で、懇意にしてもらっている取引企業から請負業務を行っている場所の近隣で新たに倉庫が賃貸されるという情報を得ました。これは千載一遇のチャンスとすぐに手を挙げましたが、競合相手には大手企業が複数いました。この頃から新型コロナウイルスの流行が始まり、世間では先行きの見えない状況でしたが、これが我々にとって大きな追い風となりました。大手企業の多くは感染症の拡大により撤退ムードが顕著となり始めたからです。

倉庫を所有していた兵機海運(株)様〔本店：神戸市中央区〕から交渉機会を頂き、私たちのビジョンについて誠意と熱意を持って話をしました。我々の境遇に興味を持って頂き協議を重ねた結果、2020年（令和2年）6月に念願であった港湾倉庫を取得することができ、本社も神戸市灘区にある摩耶埠頭へ移すこととなりました。しかし、倉庫を取得しただけでは営業はできず、必要な許認可の取得やノウハウについても、兵機海運(株)様に一から手解きを受けました。港湾倉庫に不可欠となる保税蔵置場の許可については税関OBを顧問として迎え、社員と保税についての研修を重ねることで神戸税関許可の取得に至りました。また、同業と差別化を図るため役員の一人在業薬剤師免許を持っていることを生かし、化粧品販売製造業、化粧品製造業、医薬部外品製造業、医療機器製造業などの取扱免許も取得することができました。多くの方の支援を得ながら、同年12月には港湾運送関連事業の免許も取得することができ、港湾運送事業に本格参入することが可能となりました。この免許を取得できた効果は大きく、国内だけに止まらず輸出入に関わるグローバルな物流も手がけられるようになり、神戸港を支える物流事業の一員に加わるようになりました。



■ 事業拡大

さらに2021年（令和3年）の時点で倉庫が満床となっていたことから、新たな倉庫を模索していたところ、同じ摩耶埠頭内の倉庫も紹介を頂き、2つ目の港湾倉庫が稼働するようになりました。この倉庫では海外からの原料を輸入したのち一時保管し、お客さまの工場へ運送、そして工場ですでにできた製品をまた運送して保管・出荷するというスキームを組み、港湾倉庫+運送の連携で物流サービスを提供することができるようになりました。

創業のキッカケである国内物流の請負業務が、ついに2022年（令和4年）に相手企業移転のため契約終了が決まりました。移転した先においても引き続き請負業務をする話も頂いていたのですが、私自身が神戸港へのこだわりを持っていたため、神戸で港湾事業を拡大していく決意を固めていました。その後、2023年（令和5年）には藤原運輸(株)様とタッグを組み、合併で藤原港運(株) [本店：神戸市灘区] という港湾荷役業の会社を摩耶埠頭で設立しました。もともと国内物流の請負業務をしていた倉庫を藤原運輸(株)様から賃貸することで、国内物流の倉庫としてではなく弊社グループとして3つ目の港湾倉庫として運営をスタートするようになりました。今後も神戸港を拠点に、様々な人とのつながりを大切にして物流スペシャリストとして、より良いサービスを提供しながら、物流を通じ社会貢献を実現したいと考えています。

■ 最後に

当社は藤原運輸(株)様や兵機海運(株)様をはじめ数多くの企業様や業界関係者様とのご縁を頂いたうえ、支えてもらっていることで成長し続けています。お世話になった方々に感謝してもしきれず、今後も成長するなかで皆さまにご恩返しをしていき、神戸港の発展に貢献できるよう精進したいと思います。

ようやく安定した仕事を得られる体制となったことから、今年末には念願であった長期休暇（2023年12月29日～2024年1月4日の7日間）を従業員全員が取得できるようになりました。オン・オフをしっかりとつけることで、安心や安全を確固たるものにしてほしいと思っています。そして最後に、一緒に頑張っている従業員の皆さんには「これからも感謝の気持ちを忘れず、共に成長し、プライドを持って、カッコ良く、いい仕事をしよう！」と伝えたいです。

会社概要

(株)ロジスト

(TDB企業コード：548016561 法人番号：2140001099363)

事業内容：倉庫業、港湾運送関連事業

設立：2015年（平成27年）9月

所在地：神戸市灘区摩耶埠頭2-3

電話：078-871-7362

URL：<https://logist-a.com/>